

発行者  
**日本弁護士連合会**  
 東京都千代田区霞が関1-1-3  
 TEL 03-3580-9841(代)  
 (会員の購読料は会費に含まれています)

**INDEX**

- 2 ■生活保護世帯における貧困の連鎖解消に向けて
- 日弁連短信：個人情報制度をどう存じますか？
- (会員向け研修) 刑法の一部改正(性犯罪)を踏まえた弁  
 護活動に関する研修
- 会務等で必要になったベビーシッターの費用・延長保育  
 料等を補助します
- 3 ■(シンポジウム) 性暴力の根絶を目指して
- 国際知財司法シンポジウム2017
- (シンポジウム) 技能実習制度の問題点とあるべき外国  
 人労働者受入れ制度 韓国雇用許可制の調査を踏まえて
- (全国冤罪事件弁護団連絡協議会第26回交流会) 防犯カ  
 メラと冤罪 監視社会化を考える
- 成年後見制度利用促進基本計画に関する連続学習会  
 (第3回) 成年後見制度と意思決定支援
- 4 ■JFBAPRESS 研修の達人に訊く
- 日弁連委員会めぐり：GPS 捜査に関する立法対応ワーキ  
 ンググループ

全国冤罪事件弁護団連絡協議会  
 第26回交流会

**防犯カメラと冤罪**  
**監視社会化を考える**

11月7日 弁護士会館

大阪の事件について話す辰巳会員



**事件報告**

防犯カメラを含む監視カメラの映像は、証拠の客観化といった観点から有用であるが、信用性を過大に評価される危険性をほらむ。監視カメラ映像の両側面とどのように向き合うべきかについて、具体的な事件や研究成果を踏まえ検討した。

広島銀行窃盗誤認事件で被告人とされた方は、カメラの映像は科学的な分析・解析と公正中立な検証がなされるのが大前提であり、映像の一部のみでは、捜査機関側に都合のよいストーリーの補充に利用されかねないと訴えた。弁護人を務めた久保豊年会員(広島)は、同じ映像でも他の証拠との結び付け方により

有罪にも無罪にもなり得る怖さがあると述べ、映像の利用方法についての注意を促した。

大阪コンビニ窃盗誤認事件で被告人とされた方は、人間が映像を管理する以上ヒューマンエラーが発生する可能性があり、映像管理者のレベルが映像の存否や信用性を左右しかねないと語った。

八王子傷害誤認事件で弁護人を務めた牛田喬允会員

**研究者報告**

(第二東京)は、防犯カメラの映像から犯人と疑われるも、ドライブレコーダーの映像により公訴棄却となった経緯を説明し、映像の良い面も悪い面も表れた事案であったと報告した。被告人とされた方は、映像の影響で気持ちが大きく左右された様を説明した。

**質疑応答**

法として、許容要件を条例やガイドラインで明確化したり、強力な罰則を設けてコントロールしたりするなどのアプローチを挙げた。

指宿信教授(成城大学法学部)は、「監視を『監視』せよ!..監視カメラとその規制手法をめぐって」と題し報告を行った。匿名性や表現の自由等を脅かす恐れのある監視を「監視する必要がある」と指摘し、その方

指宿教授は、証拠の保管に関して、一部重大犯罪の公訴時効が撤廃される中、誰がどのように保管するか等の定めがないことは問題であると述べた。大阪コンビニ窃盗誤認事件の弁護人を務めた辰巳創史会員(大阪)は、映像中の犯人と被告人との同一性を検証する際には、映像と同じ状況下の被告人の写真等を用いるべきであると語った。